

イ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進0

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) ごみの減量化（リデュース）・分別	情報収集・発信	市 民 事業者	◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などに参加します。	【平成２９年度新規実績】 ◆ ごみ分別一覧表（Ａ３サイズ）を広報３月で全世帯に配布	【評価】 ◆ 不用品データベースの実施、市内企業と連携したフリーマーケットの実施に加え、リサイクル率の増加、ごみ排出量の削減に向けて新たにごみ分別一覧表（カラー・Ａ３サイズ）を作成・全世帯配布したことを評価する ◆ 市民からの要望に応え「制服リサイクル」を試験的に実施し、市民間における需要並びに新たな市民サービスの展開を見出したことを評価する ◆ 庁舎内限定ではあるが、リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入促進を実施し、職員の意識向上を行ったことを評価する 【課題】 【平成２８年度の実績】 ◆ 市内４か所の学童クラブに登録している小学校１年生全員を対象にごみの減量とリサイクルに特化したゲームやぬり絵、工作などをエコ部！が主体となって実施
		市	◆ホームページやパンフレットなどを利用し、ごみの分別方法や減量化の啓発を行います。 ◆ごみの減量化に必要なごみを出さない生活のあり方についてイベントやホームページなどで啓発します。 ◆ごみの減量化などに関する学習会や講演会などの開催に努めます。	【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 ◆ ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆ 拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆ 市内中学校において、ゴミの減量や処理方法についての環境教育授業を実施	
	排出抑制の取組	市 民	◆マイバックを利用します。 ◆ものを大切に使うことを基本とし、ごみを出さない生活を心掛けます。 ◆ごみの分別方法を守ります。	【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ ごみ回収のその後・・・のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 ◆ ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知 ◆ 拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施 ◆ 広報にて定期的にごみ処理の注意点などを掲載 ◆ 旧粗大センターで資源ごみ回収を実施（土、日、月の１３時～１６時） ◆ 市内のリサイクルショップをホームページ上で周知 ◆ 通常商品と比較し、安価または同額な場合はリサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入促進を実施	
		事業者	◆簡易包装に努めます。 ◆産業廃棄物と事業系一般廃棄物※ ¹ などの区分を理解し、ごみの分別を守ります。 ◆ごみ減量化の視点から商品開発に努めます。		
		市	◆ごみ減量化の取組の検証・評価を行います。 ◆リサイクル推進員や団体と協力し、ごみの適正処理に向けた活動を行います。 ◆適正なごみ処理のあり方を検討します。		
	2) リユース・リサイクル	リユース・リサイクル	市 民	◆リサイクル製品の購入や中古品の活用など、再利用を心掛けます。	

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度からの実績（取組）	委員からのコメント
			◆使用済廃食用油・古繊維・不用となった小型家電の拠点回収の利用を心掛けます。	<u>※合計１０着（男子用５着、女子用５着）を回収し、うち７着を譲渡。余剰となった制服は、該当中学校に寄贈し、生徒の着替え等に活用</u> 【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ <u>以下の場所で回収を実施</u> <u>古着・古繊維（市役所・旧粗大センター・江部乙支所）</u> <u>小型家電（市役所・まちづくりセンター・江部乙支所）</u> <u>使用済廃食用油（市役所・まちづくりセンター、江部乙支所、コミュニティセンター、市内ガソリンスタンド、食堂など）</u> ◆ <u>カレンダーリサイクルを２回／１２月、１回／１月に、市役所大会議室で実施（カレンダー１，３０７点、手帳７０点）</u> ◆ <u>市内中学校の制服を対象とした制服リサイクルの実施に向けて、市民から制服の回収を実施</u>	
		事業者	◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆古紙のリサイクルを推進します。 ◆カレンダーリサイクル事業に協力し、余剰カレンダーを提供します。		
		市	◆リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆使用済廃食用油の回収・古繊維・不用となった小型家電の回収を進めます。 ◆カレンダーリサイクル事業を行います。		
	フリーマーケット・リサイクルショップなど	市 民	◆フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用します。	【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ <u>滝川市リサイクルフェアの実施（フリーマーケット出店数：７５店、来場者数：２，５００名）</u> <u>※平成２８年度は、悪天候のため中止</u> ◆ <u>ホームページ上で市内のフリマ情報並びにリサイクルショップ情報の配信を行った</u> ◆ <u>広報で毎月不用品データバンク事業を行った</u>	
		事業者	◆フリーマーケットに参加・協力します。		
		市	◆フリーマーケット情報交流事業などの強化など、リユース品の利用促進についての啓発を図ります。 ◆不用品データバンク事業を行います。 ◆リサイクルフェアを開催します。		

ウ 環境美化活動の推進

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 環境の美化	不法投棄対応	市	◆不法投棄防止の啓発活動や監視体制の強化を図ります。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>不法投棄監視員による市内巡回を実施（毎週月曜日～金曜日）</u> ◆ <u>リサイクル推進員による巡回パトロール、不法投棄の通報等を実施</u> ◆ <u>市民や事業者が、町内清掃・ごみ拾い等を随時実施</u> ◆ <u>たきかわクリーンデイ（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けた</u> <u>実施主体：町内会・事業所・団体・学校等</u> ◆ <u>クリーンデイ取組み期間のほか、必要に応じ、町内清掃・ごみ拾い等を実施する個人・団体等にボランティア袋を配布</u>	【評価】 ◆ <u>不法投棄監視員による毎日の市内巡回パトロールを行い、不法投棄へ適切な対応を迅速に行ったことを評価する</u> ◆ <u>多くの市民が参加できるように年2回のクリーンデイ実施期間を各1か月ずつ設定し、地域の景観美化に努めたことを評価する</u> 【課題】
	ボランティア活動の推進	市民事業者	◆たきかわクリーンデイ（全市一斉清掃）に参加します。 ◆ボランティア袋を活用し、環境の美化に努めます。		
		市	◆たきかわクリーンデイ（全市一斉清掃）の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けます。 ◆ボランティア袋を配布し、ボランティア活動を支援します。		

地 球 環 境

目標2：エネルギーを大切にし、環境への負荷の少ないまち

平成37年3月末 達成目標
滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量 4,250 k g
省エネモニターのCO2排出量 前年度比の1.0%減
※平成29年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 地球温暖化対策の推進

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 計画的な地球温暖化対策の推進	地球温暖化対策の実施	市民事業者	◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の知識と理解を深めます。	【平成29年度新規実績】 ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施 ◆ <u>國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、公益財団法人北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校で環境授業の実施</u> ◆ <u>市内外の小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施</u> 【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用した地球温暖化防止事業の実施</u> ◆ <u>ホームページを活用した情報発信を実施</u> ◆ <u>クールビズ、ウォームビズの推進</u> ◆ <u>ライトダウンキャンペーンを実施</u>	【評価】 ◆ <u>昨年に引き続き、二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用し、保育園児から大人までを対象とした幅広い年代へのエネルギーに関する普及・啓発、様々な主体と連携した節電・省エネ対策を行ったことを評価する</u> ◆ <u>高校生・短大生が「先生」となって、子ども達へ環境教育を行い市民間での異世代交流を促進したこと、「教える」活動を通じて高校生や短大生も自らの生活を振り返り、環境保全について考える機会を提供したことを評価する</u> ◆ <u>地域と連携し、町内会の街路灯やコミュニティセンターのLED化を推進したことを評価する</u> ◆ <u>環境省や北海道が提供する省エネ情報を省エネモニターに提供したことがエネルギーの削減につながった。的確な情報伝達を評価する。</u> ◆ <u>昨年度に引き続き、ホームページを活用した市民への定期的な情報発信、籾殻の燃焼実験を実施したほか、エネルギーパークの本格始動により、市民へ再生可能エネルギーについての情報を提供したことを評価する</u> 【課題】
		市	◆滝川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、市の各施設において省エネルギーに取り組み、地球温暖化対策を率先して進めます。 ◆地球温暖化対策に関する情報提供・対策の発信に努めます。		
2) 省エネルギーの推進	情報収集・発信	市民事業者	◆省エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	【平成29年度新規実績】 ◆「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施 ◆ <u>國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、公益財団法人北海道環境財団職員が講師である地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校で環境授業の実施</u> 【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>ホームページを活用した情報発信を実施</u> ◆ <u>滝川市立開西中学校で行った出前講座において、省エネに詳しい北海道地球温暖化防止活動推進員を招き、体験型ワークショップの実施</u>	【平成28年度実績】 ◆ <u>8月3日（水）エコ部!主催のイベント「エコたきまつりin國學院短大」において、小学校2年生を対象に北海道電力の講師がゲームやクイズを行い省エネについて学ぶ省エネ講座を実施</u>
		市	◆省エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆省エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
	省エネルギーの実践	市 民	◆環境家計簿などを活用した省エネルギーの取組を実践します。 ◆照明をはじめ、家電製品などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆公共交通機関の利用に努めます。 ◆エコドライブの実践に努めます。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>空知自動車学校と連携し、卒業生を対象としたエコドライブ講習会の実施並びにエコドライブに特化したメールマガジンの配信</u> ◆ <u>エコたきポスター・チラシにて節電や省エネについての啓発を実施</u> ◆ <u>環境家計簿（省エネモニター）を実施</u> ◆ <u>補助金を町内会に支出し、町内会等が維持管理する街路灯をLEDに切替促進</u> ◆ <u>市内公民館の照明をLEDに切替促進</u>	
		事業者	◆照明をはじめ、電気設備などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆環境への負荷の少ない事業活動に努めます。 ◆エコドライブを行います。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。 ◆省エネルギーや温暖化対策の推進に取り組めます。 ◆環境省などによる省エネルギー診断などを利用した取組を検討します。 ◆環境省が策定した事業者向けのCO ₂ 排出削減対策への参加を検討します。		
		市	◆環境家計簿を作成し、市民への普及に努めます。 ◆道路環境の整備や公共交通機関の確保に努めます。 ◆エコドライブに関する情報の提供に努めます。 ◆LED照明などの省エネルギー機器の導入や普及に努めます。 ◆町内会などが維持管理する街路灯のLED切替促進に努めます。 ◆公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るための省エネルギー化を含む計画的な修繕に努めます。 ◆環境省が策定した事業者向けのCO ₂ 削減対策について、情報提供に努めます。		
3) 再生可能エネルギーの利	情報収集・発信	市 民 事業者	◆再生可能エネルギーに関する知識と理解を深めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	【平成29年度新規実績】 ◆ <u>「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施</u>	

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
用促進		市	◆再生可能エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。 ◆再生可能エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。 ◆廃棄物処理施設における発電その他公共施設における再生可能エネルギー活用事例などの情報提供に努めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆市内公共施設に設置した太陽光パネルの発電量を3ヶ月毎にホームページに掲載	
	再生可能エネルギーの導入	市民	◆再生可能エネルギーについての情報収集・学習に取り組み、再生可能エネルギーの導入を検討します。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載 ◆(株)IHI環境エンジニアリング・IKE、ラサ工業(株)と共同研究協定の締結を結び、利用度の低い穀殻を燃料として活用する燃焼試験を実施	
		事業者	◆再生可能エネルギーの導入を検討します。	◆駅前広場の整備工事開始（小型風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場を設置 ※平成29年度より本格始動	
		市	◆再生可能エネルギーの導入を検討するとともに普及・啓発に努めます。 ◆バイオマスなど未利用の自然エネルギーなどの活用を検討します。 ◆駅前広場に、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを導入します。		

イ その他の地球環境問題への対応

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) PM2.5・フロンガス※2などの情報収集・提供	情報収集・提供	市	◆PM2.5やフロンガスなどの地球環境問題について、国や北海道からの情報収集に努めるとともに、ホームページやコミュニティFMなどで必要な情報を市民に周知します。	【平成29年度新規実績】 ◆滝川市ホームページに「PM2.5発生情報」を新設し、北海道や環境省が管理・発信している情報を市民へ提供	【評価】 ◆ホームページ上に情報コーナーを設置し、最新情報を市民が確認できる環境を整備したことを評価する 【課題】 【平成28年度の実績】 ◆実績なし

自然環境・農業

目標3：身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

平成37年3月末 達成目標

エコネット登録団体の自然保護活動参加人数 計画期間累計 8,700人

農業体験授業（事業）の実施校数 計画期間累計 150校

※平成29年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 身近な自然環境の保全と活用

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 豊かな自然資源の情報発信	丸加高原や菜の花畑などの豊かな自然環境のPR	市民 事業者 市	◆滝川市の豊かな自然について、SNSや広報・ホームページ・イベントなどを通じて、全国に向けてPRをします。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>広報、ホームページ、Facebook等を活用した、イベントやキャンプ場情報周知</u> ◆ <u>丸加高原で採取した木の実や枝を活用した工作体験の実施</u>	【評価】 ◆ <u>エコネット登録団体のサポートや公園の管理など、滝川市の環境美化に努めていることを評価する</u> 【課題】 ◆ <u>引き続き産業振興課、観光国際課、農政課等と連携し、広報、ホームページ、Facebook等を活用した周知を継続的に行ってもらうことを期待する</u> 【平成28年度の実績】 ◆ <u>地域おこし協力隊による自然体験イベントや子どもキャンプの実施</u>
2) 豊かな自然資源の活用と保全	街路樹・公園の適正な維持管理	市民 事業者 市	◆街路樹・公園の樹木などを維持するためのボランティア活動に参加し、自然環境への関心を深めます。 ◆公園の適切な維持修繕に努め、利用者の安全確保に努めます。 ◆街路樹の適正管理に努めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>公園改修の実施</u> ◆ <u>公園の草刈等維持管理の実施</u> ◆ <u>街路樹の剪定業務の実施</u>	
	良好な水辺環境の保全	市民 事業者 市	◆川づくり活動に参加し、自然環境への関心を高めます。 ◆石狩川クリーンアップ作戦の参加など、河川の環境維持に協力します。 ◆河川への不法投棄の監視など河川の環境保全に努めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>石狩川クリーンアップ作戦への参加</u> ◆ <u>ボランティアによる石狩川再生の森（石狩川周辺の草刈り、森林の管理など）の実施</u>	
	自然体験など学習の提供	市民 事業者 市	◆自然体験や自然観察会などの取組に参加し自然環境への関心を高めます。 ◆自然体験や自然観察会などの開催及び情報提供などに努めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>エコネット登録団体による自然体験や自然観察会の開催時に職員がサポートを行った</u> ◆ <u>自然体験や観察会実施などの事前周知をホームページ上で行った</u>	

イ 豊かな農業環境の保全と活用

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 環境にやさしい農業や地産地消などの	減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の普及・啓発	市民 事業者	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の理解を深めます。 ◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業に取り組みます。 ◆用排水路など地域の共同管理している箇所環境の維持に努めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>生産者のほ場等での田植え・稲刈り等の農業体験を通じ、環境保全型農業の取組の理解を深めた。</u> ◆ <u>減化学合成農薬・減化学肥料による農産物（米・野菜）の生産を行った。</u> ◆ <u>減化学合成農薬・減化学肥料などによる環境保全型農業による生産を行った生産者に対し交付金による支援を行った。</u>	【評価】 ◆ <u>環境保全型農業や地産地消に関する情報を関係機関との連携のもと定期的に発信していることを評価する</u> 【課題】 ◆ <u>引き続き、農政課、JA、農業経営者、観光国際課、滝川</u>

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成２８年度からの実績（取組）	委員からのコメント	
推進		市	◆減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の情報提供や支援に努めます。		<u>市保健センター、教育委員会と連携し、目標達成に向けた取組を継続的に行ってもらうことを期待する</u>	
	地産地消の推進	市 民	◆地元農畜産物の積極的な購入や中食・外食においては地産地消認定店の活用や地元農畜産物を活用したメニューを選ぶなど地産地消を推進します。	【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ <u>たきかわ地産地消認定店ガイドブック及び滝川地産地消協議会フェイスブックによる地産地消メニュー情報の発信</u> ◆ <u>たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデンの開催（地産地消認定店の出店）</u> ◆ <u>年６回市内小学校で市内生産者による農作物の授業及び交流給食</u> ◆ <u>ちよっ蔵まつり、道の駅たきかわ大収穫祭における新米PR活動の実施</u> ◆ <u>広報たきかわにおける地産地消特集の掲載</u>		
		事業者	◆地元農畜産物を活用したメニュー提供やレシピのＰＲなどを行い、普及に努めます。			
		市	◆地産地消の給食の実施に努めます。 ◆地元農畜産物のＰＲに努めます。			
	食育の推進	市 民	◆日常生活の中で健全な食生活の維持に努め、食を通じて自然の恩恵に対する理解を深めます。	【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ <u>生活習慣病予防料理教室</u> ◆ <u>料理づくりのつどい</u> ◆ <u>滝川市食育推進市民会議の開催</u> ◆ <u>滝川市食育推進市民会議専門部会の開催（３回）</u>		【平成２８年度の実績】 ◆ <u>第３次食育推進行動計画策定に向けた策定ワーキングの開催（３回）</u>
		事業者	◆食育に必要な地元農畜産物や場の提供に努めます。			
		市	◆食育を実践するため、行政機関や関係団体、事業者などと連携調整に努めます。			
2) 農 業 とのふれあいの場の提供・確保	農業体験の普及啓発	市 民	◆農業体験などの事業に参加します。 ◆市民農園などを活用します。	【平成２８年度～２９年度継続実績】 ◆ <u>J A青年部やトンボの会が実施する農業体験学習等に参加した</u> ◆ <u>市民農園などを活用した、家庭菜園づくりにより農業に親しんだ</u> ◆ <u>滝川緑の少年団員（団員／１０名、活動期間／５月２９日～１１月１２日、活動回数／６回）を募集し、緑の募金活動、不法投棄の清掃、植樹、川下り、稲刈り、脱穀などの農業体験を行った）</u> ◆ <u>広報やホームページで市民農園に関する情報提供を行い、市民の利用を促進した</u> ◆ <u>J Aたきかわや行政と協力し、市民農園の運営を行った</u>		
		事業者	◆農地見学などを受け入れることができる体制の整備を行います。 ◆農業体験学習の講師として行政などに協力します。 ◆体験農園などの企画・運営を行政などと協力して行います。			
		市	◆農業体験学習を実施します。 ◆市民農園などの情報提供を行い、市民の利用を促進します。			

環境コミュニティ

目標4：みんなが学び、共有することによる環境保全の環（わ）が広がるまち

平成37年3月末 達成目標

環境学習リーダーの人数 第1次計画からの累計 350人

環境市民大会における参加者の平均評価点 85点以上

※平成29年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

ア 環境に関する情報の発信と共有

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 情報の提供と共有	地域における環境活動の取組状況などの情報収集や情報提供	市民	◆たきかわエコネットに登録した団体などの取組状況への関心を深めます。	【平成28年度～29年度継続実績】 ◆「エコ部！」の指導をエコネット登録団体に依頼し、連携強化を図った ◆ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載 ◆事業者向けの情報もホームページ上に掲載し周知を行った ◆年次報告書を作成・ホームページ上で公表した	【評価】 ◆年次報告書の毎年発行、継続的なエコネット登録団体の支援等、他市にはない独自の取組を行ったことを評価する 【課題】
		事業者	◆環境に関する事業の実施・情報提供を行います。		
		市	◆環境基本計画に基づき実施された状況を明らかにするために年次報告書を作成し、公表します。 ◆各環境団体にたきかわエコネットへの登録を促し、それらの環境活動の情報を発信し共有することで、活動への参加を促進します。 ◆たきかわエコネットに登録した団体などを支援し、それらの結びつきを強め、活動の活性化につなげます。		

イ 環境教育の充実

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
1) 環境学習・環境保全活動の促進	環境学習・環境保全活動に関するイベントの実施	市民	◆環境学習・環境保全活動に関するイベントに参加します。 ◆環境に配慮した行動を実践できるよう、学習し、理解を深めるとともに学んだことから自発的な興味・関心を広げます。	【平成29年度新規実績】 ◆「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施 ◆環境市民大会「環境シンポジウムin滝川高校」を実施 ◆市内外の小学生を対象に、北海道滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施 【平成28年度～29年度継続実績】 ◆教育委員会と連携し、市内全小学生を対象に夏休みと冬休みに「エコたき」日記を配布、休み明けには児童が塗った「エコたきくん」ぬり絵を図書館に展示するとともに併せてウォームビズの啓発展示を実施 ◆滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部！」の指導をエコネット登録団体、空知教育センター、地域おこし協力隊等に依頼し、連携強化に努めた	【評価】 ◆滝川高校と連携しこれまでの環境市民大会の規模を大幅に拡充したこと、講演だけではなく環境保全活動に取り組む高校生による活動報告等も同時に行い、幅広い年代の市民が環境について考える機会を提供したことを評価する ◆高校生が環境教育の企画・立案から実施までのノウハウを学び、自らが考え、成長する環境学習リーダー養成講座を実施したことを評価する。 ◆平成28年度に引き続き、他市からの視察対応を行い、道内におけるエネルギーパーク普及の一助となったことを評価する 【課題】
		事業者	◆事業所を環境学習の見学の場として提供するなど環境学習の取組の支援・協力を行います。		
		市	◆環境市民大会を開催し、環境に関する情報提供に努めます。 ◆環境学習・環境保全活動に関するイベントの開催に当たっては、市内の実践者などの人材に協力を求めます。		

項目	取組	主体	取組（行動）内容	平成28年度からの実績（取組）	委員からのコメント
					【平成28年度の実績】 ◆ <u>エコ部！と國學院大學北海道短期大学部が協働で、未就学児並びに小学生を対象に、リサイクルやエネルギー等に特化した環境学習イベントを主催し、300名の市民が参加した</u> ◆ <u>11月3日（土）、マリアージュ イン ベルコにおいて環境市民大会を開催</u> ◆ <u>滝川高校生徒への地球温暖化ワークショップの実施</u>
	次世代エネルギーパークの活用	市 民	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習に参加します。	【平成29年度新規実績】 ◆ <u>北広島市市民団体（エコ・パートナーシップ北広島）の視察対応を行った</u>	【平成28年度の実績】 ◆ <u>富良野市市民団体の視察対応を行った</u>
		事業者	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習への協力を行います。		
		市	◆次世代エネルギーパークを活用した環境学習を行います。		
環境学習リーダーの育成		市 民	◆環境学習リーダー養成講座を受講し、環境についての知識を習得します。	【平成29年度新規実績】 ◆ <u>「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施</u> ◆ <u>國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、公益財団法人北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校で環境授業の実施</u> ◆ <u>市内外の小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センターと連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施</u> 【平成28年度～29年度継続実績】 ◆ <u>市内3つの高校から、環境学習リーダー養成講座に参加にする有志を募り勉強会やイベント等をとおしたリーダーの育成を実施</u> ◆ <u>市立図書館主催の夏休み「調べる学習コンテスト」に参加し、エコ部！が夏休みに実施した特別イベントをとおして、子ども達が「地球温暖化」について、調べ・まとめる機会を提供した。</u>	【平成28年度の実績】 ◆ <u>國學院大學北海道短期大学部舩井ゼミ、まちつく6、エコ部！が協働で実施した食育イベントにおいて、市内稲作農家にご協力いただき、環境保全活動や稲作栽培についてのワークショップに参加した後、道の駅で「米」をテーマにしたイベントを実施（参加人数：300名）</u> ◆ <u>國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生7名並びにスプリングフィールド大学短期留学生10名を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、公益財団法人北海道環境財団の講師による地球温暖化防止の専門講座を受講した後、市内児童センター2か所（西地区児童センター、東地区児童センター）で地球温暖化防止に特化した環境授業を実施</u>
		事業者	◆環境学習リーダー養成のため事業者が保有している環境情報や実践している環境保全活動について、情報提供を行い、身近な環境学習の創出に協力します。		
		市	◆環境学習リーダー養成講座を継続し、リーダーの育成を推進します。 ◆高校生ボランティアチーム「エコ部！」の活動の検証を行い、次世代リーダーの養成につなげます。		